

## 職員「ルーエッセイ

ニコニコホーム 管理者 松浦信太郎

### 水の色

海の水が青くて、山に流れる川の水が緑色なのは何故だろう。子どもの頃とても疑問に思っていたことのひとつです。グラスに川や海の水をくんでみるけれど、何回やってもどちらも透明か泥で汚れた色で青でも緑でもないんですよ。どうでもいいことだから不思議と忘れていて、海や川を目にすると急に思い出したりしていました。今思えば理科の先生にきいてみてればよかったと思うのだけれど、あのころはなぜか先生に尋ねるといふ発想は全くうかばなかったんですよ。あるとき昨日まで晴れ空の下きれいな青だった海が、翌日鉛色の空の下でどんよりとした深い紺色だったときふと思ったのです。海の青は空の青で、山に流れる川の水は森の緑がうつっているのだと。山の中で見た湖の色もそういえば緑でした。そんな勝手にだした答えを何気ない会話でだしてみると結構笑われたりするのです。ただそういう相手に限って川の水が緑にみえるのは川底に苔がはえているからだなどと、自信をもって言ったりするのです。ならば海の底は青い砂か岩があるのでしょうかねと言いたくなるけれどいわなくてよかったと思います。そんなやりとりも面白いのですけれど、もっと面白いのは自信満々でいわれると、変に納得させられたりするからとても不思議です。ときどき隣に座ったおじさんが話し好きで物知りであったりすると、海と川の水の色が違う理由について尋ねることが度々ありました。真摯に自分の考えを話してくれた人も結構たくさんいました。性格というか、これまでの生き方からくるのか物の見方は人それぞれであるということ学びました。話が長くて面倒な人にはこの話題は話を止めるのに恰好な武器であることも学びました。インターネットによる情報の発達と、自分自身の中で考えることが年とともにかわっていったせいなのか、今では水の色の話は特に頭を悩ます内容でなくなっています。でもときどき火山溝に水がたまった湖の色がやけにエメラルドチックだったりすると今でも「あれ？」と思ったりするのです。同時にこの懐かしい感覚がよみがえったりもするのです。今となっては小さい頃この問いに対して明確な答えを返されることがなかったのがよかったのかもしれないと思ったりしています。最近あまりにも川が緑にみえたので水の流れに顔を近づけてみましたが、やっぱり透明でその白い石がみえました。

次回は、ニコニコハウス鳴海 丹羽隆文さんにつなぎます。

低料第三種郵便物許可

平成 年 月 日発行（増刊）

A J Uニコニコハウス通信（第 号）（ ）